

丹沢たかし活動報告

市川三郷町市川大門1227 TEL/FAX 055-272-0413 丹沢たかし後援会

tanbaya@t-tanzawa.com

ごあいさつ



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

全国的には日本海側を中心とする記録的大雪により、住宅の倒壊や生活面への影響が出ています。

本来であれば2度目の東京五輪・パラリンピックが開催され、高揚感の余韻に浸った年明けを迎えるはずでしたが、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響で危機感の強い新年となりました。

去年の神明の花火大会など多くのイベントが中止となりました。これまで「当たり前」と思ってきた日常の大切さを痛感しています。

歴史学者の磯田道史氏著書の「感染症の日本史」では、「2百年前の江戸後期・・・感染症の防止には、まじないではなく、隔離をと説く医者が登場した。橋本伯寿という医学者ですが、今日、一般的には忘れ去られています。彼は『断毒論』で天然痘の隔離予防をひろめました」と紹介しています。橋本伯寿は、市川大門の円立寺にお墓のあるこの町の人です。「早く登場しすぎた疫学者」と言われますが、このような人物が輩出されたことは誇り高い町の歴史です。

また、山梨学院高校サッカー部の全国大会優勝の活躍は、県民に勇気を与えるものでした。優勝候補の高校をチーム一丸となって守り抜いた戦いぶりは見事でした。

武田信玄公生誕500年となる今年。神明の花火大会での見事な大輪の華が夜空を彩り、花火に包まれた感覚を味わうことができる、少しでも明るい話題の多い年となる様願っています。

より魅力あるまちづくりのために、皆様とともに取り組んでいきたいと思います。

【所属委員会等】

- 総務厚生常任委員会（委員長）
- 議会広報編集特別委員会（副委員長）
- 議会運営委員会委員
- 議会改革特別委員会（全議員で構成）
- 峡南医療センター企業団議会議員
- 山梨西部広域環境組合議員
- 町社会福祉協議会理事
- 連携型県人会・市川三郷町ゆかりの会「りんどう」理事（元設立準備委員）
- 大畠山外七字恩賜県有財産保護組合議会
- 介護保険事業計画・高齢者福祉計画 策定委員会



令和2年10月(第4回)臨時会・12月定例議会の概要

■第4回臨時会 会期 10月27日(火)

金額：万円未満四捨五入

①町立小中学校学習者用端末購入契約の締結

- 「GIGAスクール構想の実現」に向けた、町内小中学校10校の学習用端末機購入契約
 - ・契約額 4811万1360円(税込)
 - ・契約先 ㈱YSK e-com
- (山梨県市町村総合事務組合での共同調達) 1台あたり40,909円;1072台

②令和2年度一般会計補正予算

- 新型コロナウイルス感染症対策大学生等学業継続支援事業 1172万円
 - ・申請に基づき、対象学生等ひとりにつき2万円給付。
- インフルエンザの予防接種助成事業(妊婦・重度身障者・小中学生対象) 772万円

■第12月定例会 会期 12月2日(水)～15日(火)の12日間

条例の改正、計画の作成、令和2年度一般会計・特別会計補正予算などの議案が提出され、いずれも原案どおり可決、承認されました。

<主な議題等>

●町「国土強靱化地域計画」策定

- ・計画期間 令和2年度～6年度。
- ・国の「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」の公布に基づき、国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、町としての計画を策定する。町の他計画に対し最上位計画として位置づける。

●新町建設計画の変更

- ・合併特例債発行期限の5年間延長に伴い、計画期間を平成17年度から令和7年度までの20年間とする。
- 合併特例債発行枠は82億8千万円。約80億円が発行済。残り枠は約2億8千万円。

●令和2年度一般会計補正予算

- ・町道竜鼻川浦線(三珠)工事費等追加(令和3年度完了予定) 3568万円
- ・狭あい道路(幅員4m未満の狭い道路)工事費追加 570万円
- ・信玄公生誕500年記念花火リレー実行委員会負担金 185万円
- ・空き店舗チャレンジショップ事業費(空き店舗活用事業)補助金 100万円

印章業支援に関する町議会での取り組み

- ・国のデジタル化推進に伴う押印廃止の動きに対し、町の地場産業である印章業を産業・文化として守るため、町議会として以下の取組みを行いました。

1. 国への意見書提出

- ・10月27日臨時議会で採択

<趣旨>

「デジタル化社会における印章制度の健全な維持・発展を図るため、適切な措置が講じられるよう要望する」

<提出先>

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、デジタル改革担当大臣等

2. 全議員による「議員連盟」設立

- ・11月2日設立

・全議員で構成

<目的>

「貴重な財産である伝統的な印章文化と印章制度を守り、印章産業の活性化とデジタル社会の共存に資するための諸活動を行う

3. 名刺用落款印作成

- ・全議員の「名刺用角印」を六郷印章業連合組合に依頼し納品されました。

■ 一般質問 12月議会で以下の質問を行いました。

* 詳細は市川三郷町ホームページ「議会会議録」に掲載されます。

◆ 1. 町「歴史資料館」の整備を

Q: 町総合計画では「自然・歴史・文化を生かした『にぎわい』づくり」を基本方針としている。そのためにも、町全体を網羅した「歴史・文化・産業・人」を理解できる情報を発信する町「歴史資料館」の整備が必要である。

A: 印章資料館・歌舞伎文化資料館などの既存の施設で情報発信や観光施設として活用している。ふるさと教育と連携する中で郷土の歴史等の情報発信や学びの推進の強化を検討する。

Q: 旧町民会館等にあった資料等の保管状況は。

A: 代官所の古文書等の歴史資料や江戸期、明治期の古民具、書画などがある。i f センター倉庫及び歌舞伎文化公園内の民俗資料館に移転した。

Q: 総合計画では「町独自の *『ふるさとキャリア教育』の方向性の検討」を掲げている。取組み状況は。

A: 現在は、各学校それぞれでふるさとキャリア教育を行っている。「ふるさとキャリア教育推進協議会」等を来年度発足させ、具体的検討に着手する。

* ふるさととキャリア教育

ふるさとに生きる基盤を培う「ふるさと教育」とその基盤の上に自らの人生の指針を描く「キャリア教育」を融合した教育理念

Q: 資料館の整備は、民間で保有する文化財の散逸を防ぐ目的もある。民間団体とも共同し、展示イベントの開催等に取り組めないか。

A: 町の尊い歴史を掘り起こし、後世に繋いでいくことは重要である。代官所跡地周辺整備事業と連携した中で検討するが、時間を要する。当面はi f センター等を活用しての特設展開催などを検討していく。

◆ 2. i f センター前県道整備時に無電柱化の実現を

Q: i f センター前県道（県道市川三郷富士川線、三郡橋東地内）の拡幅事業の概要は。

A: 自転車通学生徒や通行の安全確保のため、地域説明会などを経て県で事業化された。現状の幅員5.5mを、車道部8m、自転車歩行者道3.5m、全幅11.5mとする道路拡幅を500m区間行う。本年度用地測量・補償調査、来年度用地取得、令和4年度工事着手の予定。
i f センター側の南側には歩行者・自転車通行道と自転車専用レーン、北側には自転車専用レーンを設ける。

Q: 地震や強風災害の電柱倒壊による停電や避難路の封鎖が懸念される。対策として、無電柱化の実現を県へ強く要望すべきでは。

A: 現時点では無電柱化の計画はない。事故防止の面から早期の事業完成が待たれることから工期等の関連で変更は困難と想定されるが、必要性は認識しており、県へ要望する



代官所跡地に建てられ中地区公民館として使用されてきた寿会館が取り壊されました。
代官所跡地として歴史的な施設の整備が求められます。

市川代官所概要

- 1765年（明和2年）駿河紺屋町代官所の出張陣屋として設置
- 1794年（寛政6年）「本陣」となる

- 1868年（慶応4年）
新政府が市川陣屋に市川県を設置（代官所廃止）
- 敷地 900坪
- 代官 歴代23人



寿会館



跡地「市川陣屋跡」表示を設置

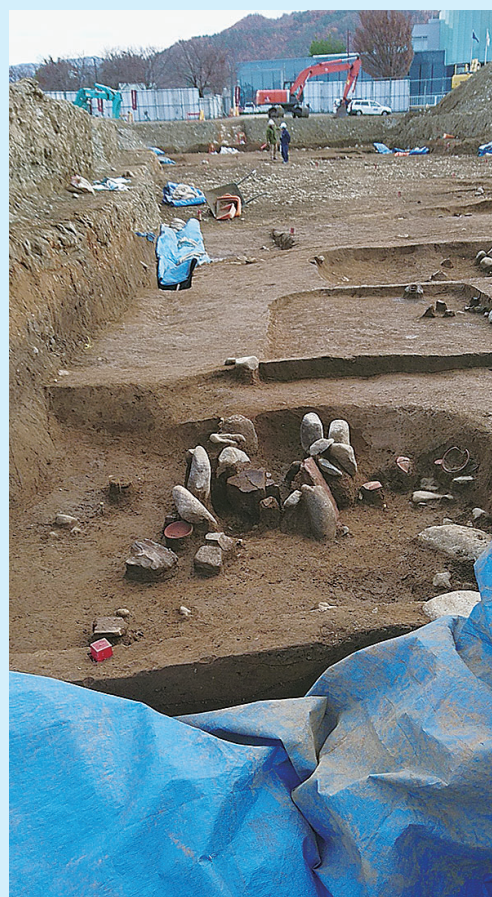
校章が掲げられていた市川高校校舎の取り壊し工事が終了しました。
リンドウ館や体育館まで見通すことができるようになりました。
現在、文化財発掘調査が行われています。今後は、令和4年3月までの工期予定で、
青洲高校体育館が建設されます。



市川高校校舎



取り壊し跡



発掘調査中

宛先などに誤りがございましたら、なにとぞご容赦ください。なお、お知らせいただければ幸いに存じます。